

石 啓

ピアノ・リサイタル

シリーズ第7回 ドイツロマンの夕べ

*Kei Obishi with Chinami Imamura
Piano Recital Matej Sonlajtner*



イ・ソナライトネル(ヴァイオリン)

ゲスト:今村千波(ソプラノ)

m
ン:ピアノ・ソナタ 第30番 ホ長調 作品109

ン:インテルメッツォ 変口短調 作品117-2

ン:言葉のない歌(無言歌集)から

春の歌 作品62-6

ヴェネツィアの Gondola の歌 作品30-6

詩人の豎琴 作品38-3

子どものための小品 作品102-5

紡ぎ歌 作品67-4

デュエット 作品38-6

リスト:魔王 作品1, D.328, S.558-4

ピアノとヴァイオリンのためのソナタ 第2番 イ長調 作品100

野ばら 作品3, D.257

ます 作品32, D.550

夜のすみれ D.752

岩の上の羊歯 作品120 遺作 D.965

2017
11/23 (祝)

14:15 開場 / 15:00 開演 (プレトーク 14:45)

相良総合センターい〜ら

入場料: 指定 ¥3,500 自由 ¥3,000 (当日各500円増)

※小学1年生からご入場いただけます

<ご予約・お問合せ>

電話 ■0548-32-5680 (Tel. & Fax.)

メール ■konzertieren014@yahoo.co.jp

*メール申込みは、上記のメールアドレスからの返信が受信できるように設定をしてください。

チケット取扱

リサイタル・シリーズ事務局及び下記の5店でチケットをお求めいただけます。

●すみやグッディ本店 054-253-6222 (呉服町)

没後190年を経て、今なお人々に感動を与え続けるベートーヴェンの音楽。彼の子、孫の世代に当たる音楽家たちに与えた影響もまた計り知れません。彼はモーツァルト、ハイドン等の古典派先輩作曲家からの伝統を受け継ぎ、ロマン派時代への橋渡しをしました。つまり、ロマン派時代の幕開けはベートーヴェンの創作後期に行なわれたといっても過言ではないでしょう。日本ではドイツ音楽の人気のとりわけ高いように思います。その中でも今回は、ベートーヴェン後期のソナタと、彼の影響を強く受けた3人の作曲家の作品に焦点を当て『ドイツロマンの夕べ』と題しお楽しみいただきます。2012年のリサイタルシリーズで来日共演をしたマテイ・ソナライトネルさんとは、その後もスイス、チェコで競演を重ねました。今村千波さんとは、20年前にシューベルトの歌曲を共演して以来、今日まで数え切れない舞台を共にして参りました。暖かい人柄のお二人と共に奏でるアンサンブルは、私にとってこの上ない幸せなひと時です。今年はピアノ独奏曲もたくさん演奏致します。シューベルト生誕200年、メンデルスゾーン没後150年、ブラームス没後100年から20年が経過したメモリアルイヤーに、彼らの名曲によるロマンティックなひと時をご一緒できますことを楽しみに、皆様のご来場を心よりお待ちしております。 大石 啓

Profile

大石啓さんはプラハ音楽院の私のクラスで数年学びました。彼がプラハに来た時、既に高度な技術、幅広いレパートリー、優れた音楽的理論や知識を持つピアニストでした。集中的に行ったレッスンの数年後、彼は特に古典派、ロマン派の作品において、曲の形式、様式、テンポなどの細かい感覚を習得し、芸術的人格を開発していきました。彼の演奏には聴衆の心をつかむことのできる素晴らしい創造性、想像力があります。私は彼のコンサートが常に、特別なものであり、それは聴衆の皆さんを音楽の持つ世界に引き込むことになると信じています。



Michal Rezek

ピアニスト、プラハ音楽院教授 ミハル・レゼク

大石 啓 (ピアノ)

吉田町出身。ルドルフ・ゼルキン氏の弾くベートーヴェンに感銘を受け、ゼルキン、ケンペ、ホロヴィッツ等往年の名演奏家の演奏法を研究する。武蔵野音楽大学にて大谷三千雄、アマデウス・ウェーバー・ジンケ、桐朋学園大学院大学にて岩崎淑、チェコ国立プラハ音楽院にてミハル・レゼク諸氏に師事、深澤亮子、津田真理、ヘルムート・ブラウス、ルース・スレンチェンスカ、ノルベルト・ヘラー諸氏にも師事した。第4回大阪国際音楽コンクール第2位、第26回ヴァルセミア国際コンクール(イタリア)にてディプロマ賞等受賞。2007年から取り組んだホロヴィッツ作品の探譜演奏はCDにも収録し、中でもムソルグスキー/ホロヴィッツ編曲の《組曲「展覧会の絵」》はインターネットサイトでも紹介された。2008、9年イタリア・グッピオ音楽祭参加。2010年堺武弥氏率いる掛川管弦楽団とベートーヴェンのピアノ協奏曲第5番「皇帝」を共演。2011年プラハ・パルフィー宮殿にてリサイタルを開催。室内楽奏者としての信頼も得て、アンサンブル・クレーのメンバーとしてピアノ三重奏(2012-2015、函館)、岩崎洸氏のリサイタル(2015、茨城)、マテイ・ソナライトネル氏のスイス3都市ツアー(2015、インターラッケン、ムルテン、ベルン)、アダム・ペホチアク氏のプラハ室内楽演奏会(2016、チェコ)等で共演。国内外の著名アーティストと共にベートーヴェン時代のコンサート・スタイルを再現したりリサイタル・シリーズを主宰(2014年度は焼津市と共催)。クラシック音楽を解説とともにお届けする「おしゃべりクラシック・コンサート」、「公開リハーサル」、小さなお子様もコンサート・ホールにて生の音楽をお楽しみ頂く「親子で楽しむコンサート」を開催し、地元のクラシック音楽の普及に務めている。学校、幼稚園への出前コンサートに多数出演、吹奏楽部との共演等、教育機関への協力も地域を問わず行う(静岡、東京、神奈川、群馬、佐賀、函館等)。カワイ表参道主催の講座「名曲を弾く・知る・聞く」〜今更、聞けない有名曲の弾き方〜にて講師を務め、「作曲家・ピアニストについて広い知識を有し、解りやすい解説に定評がある」と紹介された(2015)。現在は作曲家の自筆譜、初版譜、当時の習慣を研究した演奏活動を行うとともに、啓音塾を主宰し後進の指導にあたっている。公益社団法人日本演奏連盟、品川クラシック音楽協会各会員。

マテイ・ソナライトネル (ヴァイオリン)

スロヴァキア共和国ニトラ出身。シュテファン・マダリ氏のクラスにてヴァイオリンを始める。その後、チェコ共和国のプラハ音楽院にてインドゥジフ・パズデラ氏に、スイス連邦のベルン芸術大学にてモニカ・ウルバニアク氏師事。現在同大学修士課程にてティアノヴァ・ヤン氏に師事。国内外のコンクールにてソリスト及び室内楽奏者部門で受賞。アデルリア・オブレアン、フリードマン・アイフォン、エリザベト・ウ・フェラット・ウ・ジャコモ・テジーニ、スニョン・カン、ステファニー・ペアー各氏のマスタークラスにて研鑽を積む。スピラ・ミラビリス、ベルン室内管弦楽団、モリツブルク祝祭芸術管弦楽団などのオーケストラで演奏している。

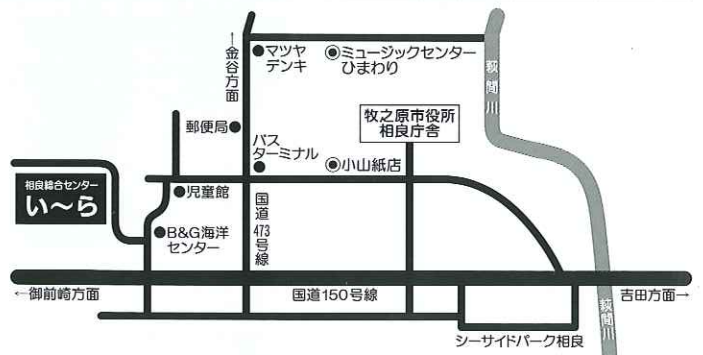
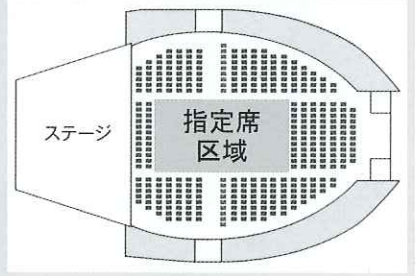
今村千波 (ソプラノ)

愛知県立芸術大学卒業、同大学院修了。東京コンセルヴァトアール尚美ディプロマコース修了。声楽を玉川昌幸、飯山恵巳子、ネッダ・カセイ、藤井多恵子各氏に師事。日壇文化協会主催「フレッシュコンサート」、神奈川県立音楽堂「新人音楽会」をはじめ、千葉県主催「青少年のための第九演奏会」(習志野文化ホール)のソリストとして、また、ソンドハイム「Into the woods」(赤ずきん役/内幸町ホール)、メノッティ「霊媒」(モニカ役/渋谷ヤマハエレクトーンシティ)ほか、童謡唱歌、ラジオ歌謡など懐かしい日本の歌、ミュージカルやポピュラーソングもレパートリーに加え、親しみやすい声楽の演奏会に力を注いでいる。

大石啓氏とは、「母の日コンサート」(04榛原町民文化センター)、「親子で楽しむコンサート」(09,12,13吉田町立図書館)、など多数共演。マイクを使わない声楽の素晴らしさを身近に感じていただけるようなコンサートを信条に活動している。また、名古屋を中心に室内楽グループ プリーズロックのソプラノとしても活動中。「歌の翼」主宰。

●指定席について

右記会場図の144席を指定席と致します。座席毎に取扱店が異なります。



牧之原市須々木140番地 ※静鉄バス相良営業所より徒歩10分